

「広島県安芸国分寺跡土坑出土品」国重要文化財指定記念展

開催要項

趣 旨

「広島県安芸国分寺跡土坑出土品」は、国分寺建立の詔（741 年）から 9 年目の「天平勝寶 2 年（750 年）」紀年銘木簡を含む、時期が極めて限定された一括出土品であり、創建後間もない国分寺で行われていた仏教行事（安居・齋会）の一端を具体的に示す資料として評価され、令和 4 年 11 月 18 日、国の文化審議会において、国重要文化財（美術工芸品：考古資料）に指定するよう答申が行われた。

「安居」「齋会」などが墨書された須恵器、「天平勝寶 2 年」の紀年がある大型木簡をはじめとした、今回指定されることとなった主要な出土品を展示することにより、広く市民に東広島の歴史や文化に興味と関心を寄せるきっかけとし、郷土愛着の醸成を図ろうとするものである。

1 名 称

「広島県安芸国分寺跡土坑出土品」国重要文化財指定記念展

2 開催期間・会場

期間：令和 5 年 3 月 13 日（月）～3 月 21 日（火・祝）

会場：東広島市出土文化財管理センター・展示室

午前 9 時から午後 4 時 30 分（入館は午後 4 時まで）

※期間中は休館日なし

3 主な展示品

- ①木簡：「天平勝寶 2 年」木簡、安芸郡・佐伯郡などの郡名が書かれた木簡
- ②墨書土器：「安居」「齋会」の宗教行事、「沼田」などの郡名が書かれた墨書土器
- ③土器：須恵器、土師器、焼塩土器
- ④木製品：箸、物指、角筆など

